河昌通信

2013年6月
第30号
発行：㈱河昌
文責：藤井潤子
須磨区松風町
5-1-22
☎078-733-0791

お陰様で河昌通信も３０号！いつもお読みいただいて、ありがとうございます・

ゴールデンウィークも済み、神戸まつりも済み、また日常が始まっています。ちょうど良い気候で気持ち良いですね。今年の夏はまた、暑くなるのでしょうか？今のうちから、体調、しっかり整えていきたいです。

さて、どこまでも突き進んですみません。

今度、夫婦そろってＣＤデビューしました！

その名は「のりのり須磨海苔」。先日、レコーディングをしてきました。カラオケもめったにいかない私たち・・・。こんなことするとは思ってませんでしたが、貴重な体験でした。デュエットなのに、音源は別々にとるんです。合いの手なども後から追加したりして・・・真面目に歌ってるのですが、結構、爆笑ものに仕上がったかも・・・？スーパーの魚売り場で良く耳にしたら離れない「さかなさかなさかな～～♪」みたいな感じで、「須磨海苔」が耳から離れなくなるかも・・・です。

真面目にアマゾンで発売予定です。

いつかお耳にかかったら、笑って下さいね。

六月のお休み
二、九、十六、二十三、三十
お電話は九時から十七時三十分まで
それ以外の時間は留守番電話が
お受けします。

プロデューサーの
支持待ちの女将

合いの手ばっちり店主

ゴールデンウィークを利用して、東京で行われた勉強会に参加してきました。父から河昌を引き継いで十数年、せっかく関わった海苔のお仕事、何かお客様のお役にたてないかと数年前から参加しているものですが、経営者が「誰をお客様にするのかを決めないとこれからの零細企業の経営はたちゆかなくなる」、と教わっても今ひとつピンときませんでした。

今回、行ったついでに、①もんじゃの月島、②お年寄りの街、巣鴨、③こだわりの食材を求める人を集める、築地、④世界一に群がる東京スカイツリー周辺、⑤東京来たら寄ってみたくなる、浅草寺、⑥みんなで気持ちよくジョギング、皇居周辺、⑦若者の街、新宿、などに行ってきました。ＧＷだったせいか、いずれもすごい人出でした。こうして人ごみに行ってみると、いずこも人は多いのですが、集まっている人は見事に区分けされているように感じました。新宿の若者は巣鴨には行かないだろうな、皇居周辺を走る人と浅草寺に行く人は人生の目的が違うのだろうな、と思いました。（正しいかどうかはわかりませんが。）

翻って私の仕事に置き換えて考えてみると、河昌の海苔は、誰に買っていただきたいのか、やっぱり「美味しいにこだわってお仕事されているお寿司屋さん」に買っていただきたい、そして、そのお店にこられたお客様が海苔巻きを召し上がった時に、「この海苔美味しいね」と言っていただけるような海苔をご提供したい、と強く思って帰ってきました。細巻きも含めて巻き寿司に使っていただく海苔には、大きく二つの機能があります。ひとつは食品としての機能、もう一つは包装資材としての機能です。相反する部分もあるこの二つの機能、お店のご要望に合わせてそれでもやっぱり美味しい海苔をご提供していきたいと思っています。

浅草

スカイツリー